



あらかわ区報 Jr.

ArakawaKuhō Junior

平成28年 12/15

発行 荒川区●23,000部発行
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 ☎(3802)3111



はんざい じこ みまも 犯罪や事故から身を守ろう!

安全で安心して暮らせる街を目指して、区では警察署や地域みなさんと協力して犯罪や事故を防止するためのさまざまな取り組みを行っています。今号では、区が取り組んでいる安全対策と、小・中学生みなさんに普段から気をつけて欲しいことを紹介します。

問合せ 生活安全課 内線☎494



▲反射材キーホルダーを自転車の鍵などに取り付け、夜道でも自立つようにしましょう。生活安全課でもらえます

▲危ないと思ったときは、迷わずに防犯ブザーを鳴らしてまわりの大人に知らせましょう

犯罪や事故に遭わないように
気をつけよう!!



▲防犯カメラには犯罪を防ぐ効果があります。区内では、通学路や駅周辺、公園などに多くのカメラが設置され、安全を見守っています



▲わがまちあんしん110番ステッカーは、区内の施設や学校・商店・民家などに貼ってあります。危険を感じたときに逃げ込むことができる目印なので、どこにあるか場所を覚えておくと安心です



▲区内の全小学校に設置されているスクール安全ステーション。登下校時の安全確認や、来校者のチェック、不審者の侵入防止を行っています



はかせ

区は、平成16年に「防災安全都市宣言」を行い、地域全体で力を合わせて防犯に取り組んでおるんじや。また平成22年からは荒川・南千住・尾久警察署と協力して治安ナンバーワンの「安全安心都市あらかわ」を目指した活動も行っておるぞ。通学路や公園への防犯カメラの設置や、安全安心パトロールカーによる巡回、わがまちあんしん110番の設置など、さまざまな活動によって、荒川区は東京23区の中でも犯罪や交通事故の少ない街になっておる。みんなもタブレットパソコンを使って「安全安心マップ」を作ったり防犯授業を受けたじゃろう。身のまわりの危険な場所を知り、「自分の身は自分で守る」力をつけるんじや。



あらかわ区報 Jr. は荒川区ホームページでご覧になれます。
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



次は1月に発行する予定です

タブレットを使って作った「安全安心マップ」で危険を再確認!!

警察署長さんにお話を聞いたよ

荒川警察署長の坂本さんが第九峡田小学校を訪問。犯罪や事故から身を守る方法を教えてくださいました。



子どもが被害に遭う事件は、全国で1年間に2万件以上、荒川警察署の管内でも毎年10~20件発生しています。時間は午後2時~6時が多く「学校から帰って、遊びや塾に行っている時間が一番危ない」と坂本さんは教えてくださいました。

犯罪の内容は、暴力を受けてけがをする事件や、体を触られる事件、自転車やゲーム機を盗まれる事件が多いそうです。坂本さんは、こうした犯罪から身を守るためのさまざまな注意事項をみんながタブレットで作った「安全安心マップ」を使って紹介し、最後に「少しでも怖い思いをしたら、必ず家の人や先生に伝えてください。大人に伝えることで、犯罪を未然に防ぐことができます」と付け加えました。坂本さんの分かりやすいお話に、みんなも安全への心構えを新たにしていました。



▲坂本さんは、みんなが作った「安全安心マップ」を使って「大通りは人も車も多くて危ないね」と分かりやすく説明

▶「エレベーターでは、すぐ操作ボタンが押せる位置で、壁に背を向けて立つのが安全。知らない人と二人だけで乗らないように」と坂本さん



▲「犯罪から身を守るための(い・か・の・お・す・し)知ってるかな?」との問いかけには全員が「知ってるー!」と大きな声

安全に過ごすためのー冬休みの約束ー

一人で家にいる時

誰も居ない時に玄関チャイムが鳴ったら、必ず誰か確認して、知らない人場合は絶対にドアを開けないようにしましょう。

出かける時

どこへ何をしに行くのか、何時に帰るかを、家の人に伝えてから出かけましょう。冬は日が暮れるのが早いので、帰りが遅くなったら入通が多い道なるべく通しましょう。



荒川警察署 前署長 現・警察庁 生活安全企画課 坂本俊介さん

※取材は11月2日(水)に行われました

お詫びと訂正

第104号2面「銭湯のイベントに出かけよう」「あらかわ家族の日 親子ふれあい入浴」の記事に誤りがありました。正:11月19日は、入浴券を持参すると親子の入浴料が無料になります。誤:毎月第3土曜(11月は19日、12月は17日)は、入浴券を持参すると親子の入浴料が無料になります。問合せ 子育て支援課 内線3811

懐かしいあの日あの時

思い出写真館

No.35

昭和32年ごろの交通安全運動

昭和32年ごろの荒川警察署前(明治通り)の写真です。全国交通安全運動期間中で、警察署の方が車道に出て交通整理を行っています。明治通りのような交通量が多い場所でも警察の方のおかげで安心して通行できます。



▶写真右にはロータリーがあり、交通量が多いことが分かります

街の中で危険な場所・安全な場所を確認しよう!

犯罪や事故が起こりやすいのはどんな場所でしょうか? 第九峡田小学校5年生のジュニア記者4名が、荒川警察署の方と街の安全パトロールを行いました。



外から見えない暗い茂みには入らない

ジュニア記者がいつも遊んでいる場所にも、よく見ると危険なポイントがありました。大きな木の影や、低い木がたくさん生えている茂みは外から見えにくくなっています。佐藤さんは「悪い人にこういう所に連れ込まれると、まわりの人に気づけられないのでとても危険です。茂みに入って遊ばないようにね」と教えてくださいました。



▲どこにでもある茂みですが、中に入ると立っていても体がほとんど見えません



みんな気をつけて あっくん ▲茂みの中に座ってしまうと、外からはまったく見えなくなってしまう



安全安心パトロールカーが通学路の安全を守ってくれる

青色灯をつけた安全安心パトロールカーを発見。区内では、3台の安全安心パトロールカーが通学路や公園、駅前、繁華街を巡回して防犯活動を行っています。午後1時から翌日の午前5時まで、365日街の安全を守っています。



▲巡回中に怪しい人や迷惑行為などを見つけた場合、すぐに警察署へ連絡。犯罪防止に役立っています



▲路地などの狭い場所でも小さな車体を活かしてうまく巡回しています



毎日僕たちを見守ってくれているんだ



冬は早く暗くなるから注意してね! すみちゃん



自転車でのスピードの出し過ぎにも気をつけよう



いろいろな場所でみんなの安全を見守る「防犯カメラ」



防犯カメラ作動中



防犯カメラがあると安心して遊べるね



▲丸い形の防犯カメラは、どこを撮影しているのかが分かりにくいので、犯罪を防ぐ効果が高いそうです



区や町会では、通学路や公園などに防犯カメラの設置を進めています。安全パトロールをしていたジュニア記者もあちこちで防犯カメラを発見。「こんなところにもあったんだ!」と驚きの声をあげていました。佐藤さんは「防犯カメラがあると悪い人が近づきにくいから、防犯カメラがある場所は安心の目安だよ」と教えてくださいました。



見通しの悪い路地では交通事故に注意

区内にたくさんある狭い路地。特に路地と路地の交差点は、信号もなく、見通しも悪いので事故が起こりやすい場所です。交差点に少しずつ近づいてみたジュニア記者は「ここまで来ても、向こうが見えないよ」「ぶつかっちゃうよ」と、路地の交差点が危険なことを学びました。



▲「路地が複雑に交差している場所は、向こうから自転車や自動車来るかもしれないと思って止まってね」



▶「このあたりは街灯が少ないね」と佐藤さん。「暗い路地は危険だから、夜はなるべく通らないようにね」と教えてくださいました



▲五差路の交差点、近くには踏切もあります。多くの人や自動車、自転車が行き交うので、一時停止して左右の安全を確認してから渡りましょう



学校訪問

部活動

学校自慢



▲いつも仲よし8人組



▲練習前の笑顔

第九中学校

東尾久2-23-5

生徒が部活動を紹介します
女子バレーボール部

尾久第六小学校

西尾久8-26-9

学校の自慢を児童が
紹介します



▲65周年を記念して撮影した航空写真



▲NHKなわとびかっこいい選手権東京都1位

の大会では、区内の全チームが六十五周年をむかえることです。尾久六小は、六十五周年記念の航空写真をとったり、六十五周年を記念した集会をしたりしました。集会で、代表委員の人たちが尾久六小の歴史を発表したり、各学年のお祝いメッセージを言ったりと、六十五周年に心を深めました。

一つ目は、今年、尾久六小が六十五周年をむかえることです。尾久六小は、六十五周年記念の航空写真をとったり、六十五周年を記念した集会をしたりしました。集会で、代表委員の人たちが尾久六小の歴史を発表したり、各学年のお祝いメッセージを言ったりと、六十五周年に心を深めました。

二つ目は、なわとびかっこいい選手権です。今年、六年生はNHKなわとびかっこいい選手権に出場しました。一次予選を突破し、二次予選のための練習をたくさんしました。その中で、友だち同士でアドバイスをしながら戦いました。

尾久六小には、すてきな自慢がたくさんあります。その中でも、今回は二つのことを紹介します。

一つ目は、今年、尾久六小が六十五周年をむかえることです。尾久六小は、六十五周年記念の航空写真をとったり、六十五周年を記念した集会をしたりしました。集会で、代表委員の人たちが尾久六小の歴史を発表したり、各学年のお祝いメッセージを言ったりと、六十五周年に心を深めました。

私たちが、しかられるなど課題はまだまだ沢山あります。日々の練習に一生懸命取り組み、やがては都大会に行けるように顧問の香山先生、石川先生について行こうと思います。これからも温かい応援よろしく願います。

私たちが、しかられるなど課題はまだまだ沢山あります。日々の練習に一生懸命取り組み、やがては都大会に行けるように顧問の香山先生、石川先生について行こうと思います。これからも温かい応援よろしく願います。

このように、尾久六小にはすてきな自慢がたくさんあり、尾久六小の子たちは元気な子ばかりです。七十周年、八十周年と続いていく尾久六小を築いていってほしいです。

め、長縄集会のためにクラスでおたがいをアドバイスし合っている、どのクラスも学校で一位を目指しています。

休み時間に元気に長縄がからクラスのきずなを深めることができていました。また、それがきっかけで他の学年も縄とびをやり始め、長縄集会のためにクラスでおたがいをアドバイスし合っている、どのクラスも学校で一位を目指しています。



荒川リバーサイドマラソンが開催されました!

11月20日、第25回荒川リバーサイドマラソンが、荒川河川敷右岸で開催されました。小学生から大人まで約2000人のランナーが、2・3・5・10キロのコースを駆け抜けました。区内の小・中学生も多く参加し、日頃からの運動の成果を発揮しました。



▲一緒にゴールを目指してラストスパート
▲開会式であいさつをする西川区長

「奥の細道矢立初めの地」子ども俳句相撲大会

2人1組で俳句を披露し合い、トーナメント方式で横綱（優勝）の座を競います。素盞雄神社境内で開催する3月11日（土）の千秋楽（本大会）を目指して、ぜひ、投句してください。

対象 区内在住・在学の小学生

応募方法 1チーム2人1組で、2句の俳句（お題は「春の季節」）を作成し、2人の氏名・住所・電話番号・学校名・学年・チーム名・チーム名の由来・意気込みを明記し、持参または郵送で、1月11日（水）必着。

※応募作品は返却しません
※選考の上、千秋楽出場チームを決定します

応募用紙の配布・応募・問合せ

〒116-0003荒川区南千住6-63-1

荒川ふるさと文化館 ☎ (3807) 9234

※応募用紙は荒川区ホームページからダウンロード可

みなは、旅行する時や初めて行く町を歩く時、何を頼りに歩く? 「タブレットで検索する!」って。さすが、荒川っ子だね。

タブレットが無かった江戸時代の旅人は、何を頼りにしていたと思う? 昔の地図はそんなに詳しくなくて、少し心細い。最も頼りになったのが道標だ。現在の道路標識のようなもので、区内にも古い道標が残っているんだよ。

昔、南千住にあったという道標が、最近、荒川区に寄贈された。頭が尖っている角柱型で、建てられたのは延享2

問合せ 荒川ふるさと文化館 (3807) 9234

あらかわ今昔ものがたり あらかわの歴史と伝説 その105 あらかわの道標 ~旅人の強い味方~

そのほとんどが、村の境や十字路、三叉路等に立っていた。旅人がどちらに行くか迷わないようにと建てられたんだね。

お不動さんも道標 荒川区役所の近くにも道標がある。意外や意外、明治通り沿いにある、袈裟塚耳無不動（荒川三丁目）だ。お不動さんが座っている、宝暦10年（1760）に造られた台座を見ると、右に6丁（約650m）行けば三ノ輪、左に1里10丁（約13km）行けば王子、1里半（約18km）行けば板橋など、周辺の村や町までの方向と距離が刻まれているんだ。真っ赤な火焰を背負っているから、すごく目立つたろうね。

江戸時代の道標は、ほとんどが動かされていて、その役目を終えたけれど、町の歴史を刻んだ大切な文化財なんだ。みんなで守って行こうね。



袈裟塚耳無不動(区指定文化財)

街道筋の道標

江戸時代の道標は、ほとんどが動かされていて、その役目を終えたけれど、町の歴史を刻んだ大切な文化財なんだ。みんなで守って行こうね。



道標を兼ねた庚申塔